

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県 川西町

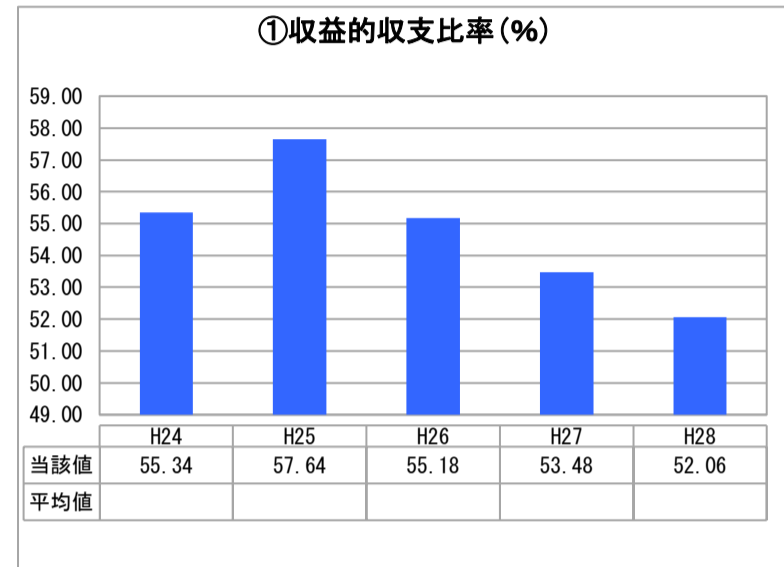
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.15	90.96	3,780

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,817	166.60	94.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
967	0.98	986.73

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



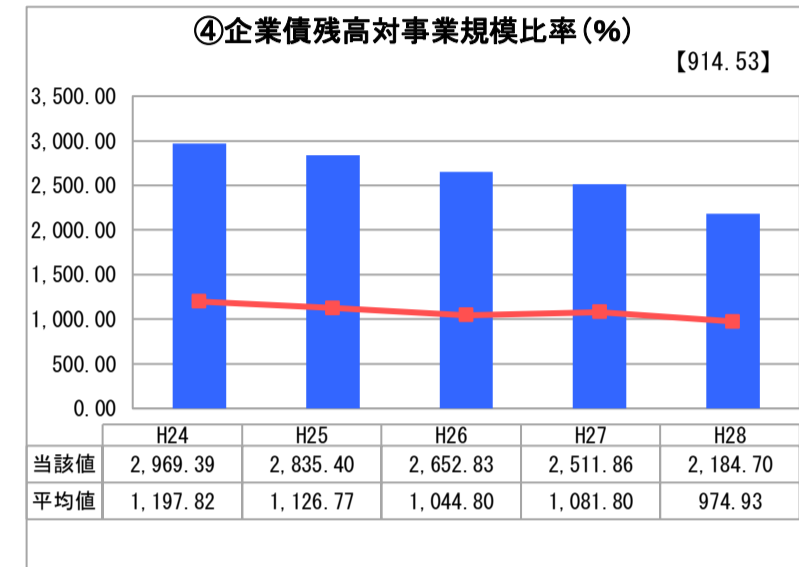
「単年度の収支」



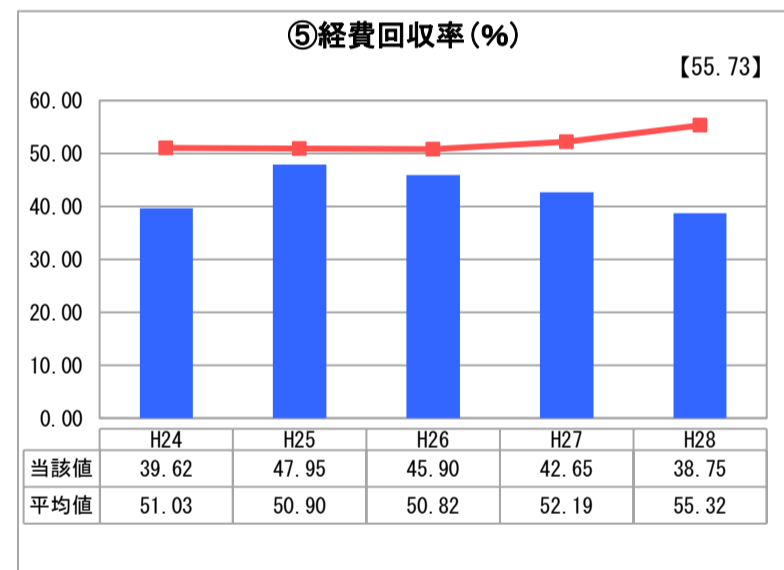
「累積欠損」



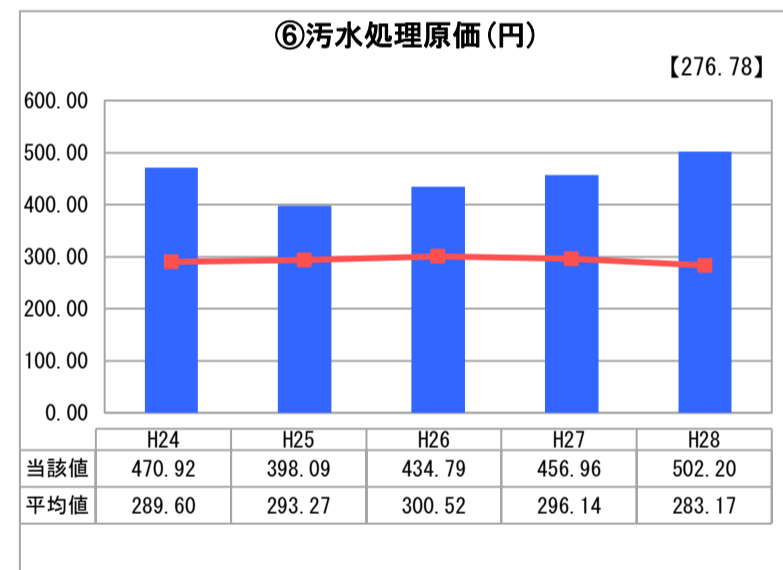
「支払能力」



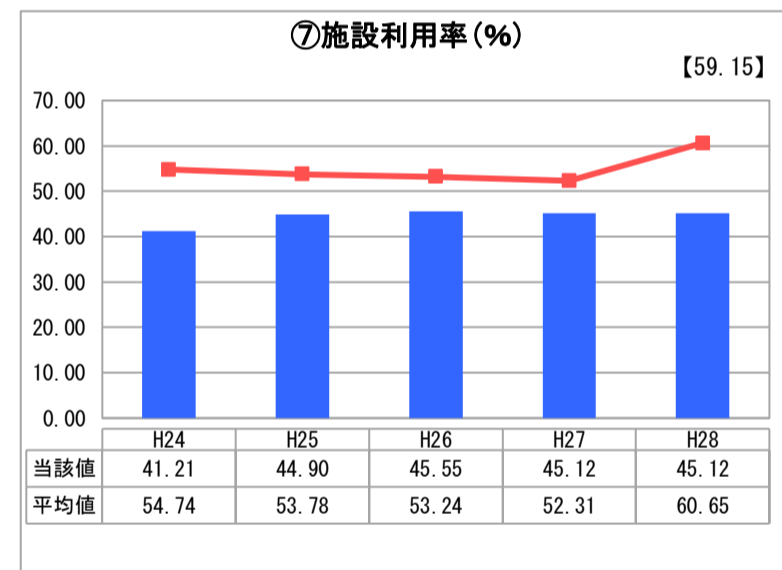
「債務残高」



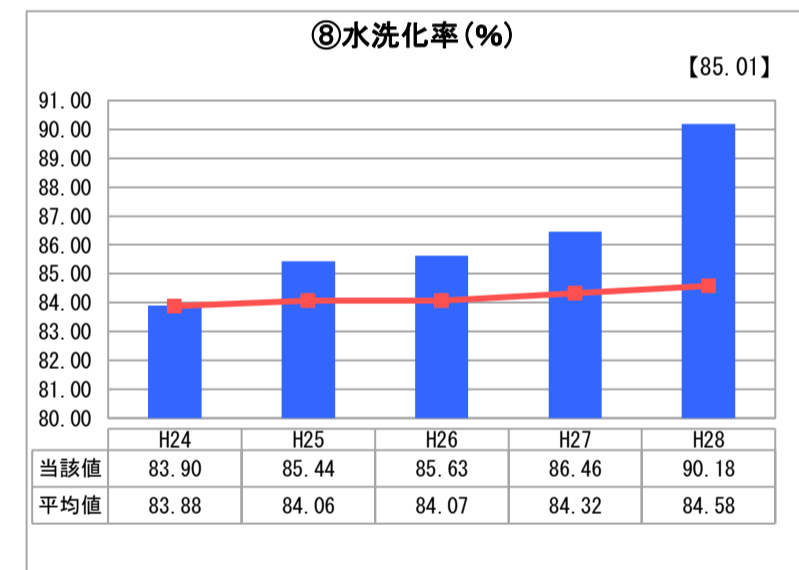
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

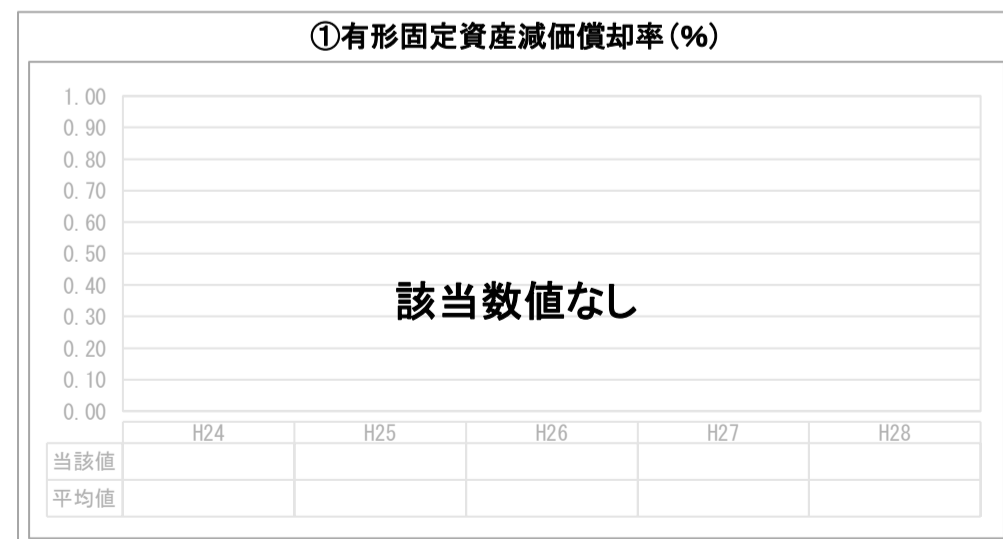


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

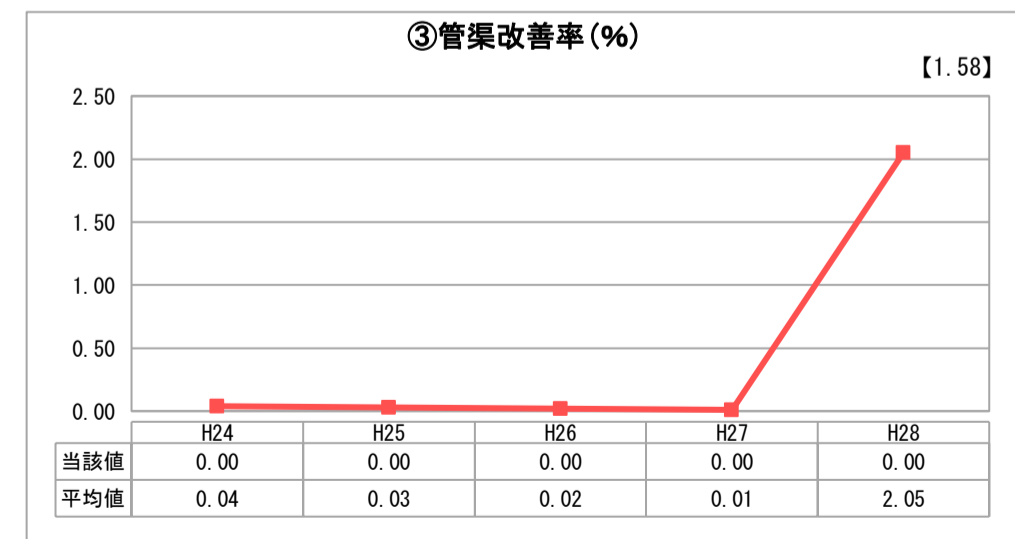
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年々人口が減少しているなか、接続率については頭打ちの状況である。  
 農業集落排水使用料の未収金については、税務会計課と連携を密にし、滞納額の減少に努めている。  
 平成21年6月分より平均12.9%の料金改定を行い、料金水準は平均値を上回っている。  
 平成33年度をピークに、建設改良地方債の償還額が年々増大するため、料金収入や資本費平準化債だけでは費用を賄うことができず、一般会計に頼らざるを得ない状況である。

### 2. 老朽化の状況について

処理場の機器類が耐用年数を迎えている状況であることから、順次機器の更新を行っている。  
 管渠については、約20年程度で耐用年数には達していないため、今後更新計画を策定していく。

### 全体総括

施設の老朽化が進んでいることから、計画的かつ効率的な施設修繕の実施に努めていく。  
 また、厳しい経営状況であるため、農業集落排水使用料の改定も視野に入れ、維持管理費の削減、接続世帯の更なる増加及び収納体制の強化による滞納額の減少に努め、農業集落排水事業経営の安定化を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。